

# ごい牌 ルール (四人専用)

(四人ペア戦ルール)

## 【ゲームの目的】

手牌を全て出し切ることで得点を獲得し、ペア合計一万五千点を先取したペアが勝利します。

※ごい牌専用ルールの「焼き鳥ルール」を採用した場合は先取する得点が変わります。

## 【ゲームプレイ】

一、「し」二牌、「王」「玉」を抜き出し裏向きでシャッフルし各プレイヤー一牌をツモリペアを決めてください。

「王」を引いたプレイヤーが起家(スタートプレイヤー)になります。

二、ペアは対面で座ります。

三、牌をすべて裏返しシャッフルし二段四列の山を作ってください。

四、起親は八面ダイスを振りそれに従い閑牌します。

・閑牌方法

(例一)八面ダイスの出目が「三」出た場合

起親から数え(起親が一)三なので対面の山から閑牌します。

続いてもう一度八面ダイスを振り対面の山のどの列から取るか決めます。「五」が出ました。

※山の右端から「一」「二」なら一列目から、「三」「四」なら二列目から、「五」「六」なら三列目から、「七」「八」なら四列目から

対面の山の右端から三列目(自分から見たら左から三列目)の縦二牌をツモリ、自分の配牌にします。山は時計回りに閑牌していきます。

(例二)八面ダイスの出目が「一」が出た場合

出目が「一」なので起親の山から閑牌します。

続いてもう一度八面ダイスを振り自分の山のどの列から取るか決めます。「二」が出ました。

※山の右端から「一」「二」なら一列目から、「三」「四」なら二列目から、「五」「六」なら三列目から、「七」「八」なら四列目から

自分の山の右端から一列目の縦二牌をツモリ、自分の配牌にします。山は時計回りに閑牌していきます。

五、閑牌が終わり、各プレイヤーは手牌が八枚になります。まずは手役を確認します。

「し」が四枚以下ならゲームを開始します。「し」が五枚以上の場合は【牌の説明】「し」を参照してください。

六、起親は受けて任意の牌を裏向きで打牌します。続いて攻めで表向きで打牌します。

七、下家は上家に攻めに対して受ける場合は攻めと同じ牌を表向きで受けて打牌してください。続いて攻めの牌を打牌し手番が下家に移ります。

受けれない、もしくは受けたくない場合は「なし」と宣言してください。「なし」と宣言した場合手番は下家に移ります。(攻めの牌は続きます)

全員「なし」を宣言した場合任意の牌を裏向き受けて打牌し、続けて表向き攻めで牌を打牌します。

八、八枚の手牌を出し切れれば上がりとなり、最後に出した牌の得点を得ます。

※上がる直前全員が「なし」を宣言した場合受けて出す裏向きの牌と上がり牌が同じならば得点が二倍になります。

九、上がったプレイヤーが次ゲームの起親となります。(以後規定得点を超えるまで三、～八を繰り返します)

## 【牌の説明】

- 「し」十枚 千点 ・「王」「玉」に受けられない。  
・手牌に五枚の場合はペアのプレイヤーと相談し、続行かやり直しを決めることができる。(相談しなくても良い)  
・手牌に六枚の場合は残りの二枚の牌の得点の高いほうの得点を得る。(二つとも同じ牌だった場合は得点が倍になる)  
・手牌に七枚の場合は残りの手牌の2倍の得点を得る。  
・手牌に八枚の場合千点を得る。  
・ペアで五枚ずつの場合はその時点でゲームに勝利する。  
・相手のペアと五枚ずつの場合はやり直しする。

「香」四枚 二千点 ・「王」「玉」に受けられない。

「馬」四枚 二千点

「銀」「金」各四枚 三千点

「角」「飛」各四枚 四千点

「王」「玉」各一枚 五千点 ・「し」「香」は受けることができない。

・「馬」「銀」「金」「角」「飛」は受けることができる。

・「王」「玉」が場に出ている場合攻めで使うことはできない。

・「王」「玉」二枚を持っている場合に限り二回目以降の攻めで使うことができる。

受け	一	二	三	四
攻め	一	二	三	上がり

## 【ごい牌専用オプションルール】

- ・焼き鳥ルール 二万点先取のゲームとなります。  
ゲームスタート時各プレイヤー焼き鳥マークを表向きにしておきます。  
上がったプレイヤーは裏向きにします。  
ペア同士焼き鳥マークが裏向きになれば一万五千点で勝利します。  
全員が裏向きになった場合再度全員焼き鳥マークを表向きに戻します。
- ・ドラルール 親はゲーム開牌時に一緒に将棋ダイスを振ります。  
将棋ダイスの出た目の牌がドラになります。  
ドラで上がると一役上がります。(千点プラス)